

会報 しんせき

第 93 号

令和3年9月12日

発行責任者

新関コミュニティ協議会
会長 渡辺 和典

笑顔いっぱい 元気いっぱい 夢いっぱい

新関コミュニティ協議会：新潟市秋葉区下新364-1 Tel.0250-47-4640

(新関コミュニティ協議会の活動は、新潟市の助成を受けています。)

しよ いき あき おさまる

暑往秋収

「朝顔」

「日々草」

花を咲かせた

コロナ騒動に動ぜず

巻の



水不足

日照り

猛暑

児童クラブの子供たちが植えたプランターの花も、職員や児童の管理できれいな花が咲き続けています。

◇新関コミセンの玄関前に、わずかな隙間から目を出した「日々草」

◇昨年植えたこぼれ種から育った「朝顔」
たくましさ
「脱帽」



稲刈りが進んでいます。秋です。



2021/09/04 16

旧土地改良区の建物解体工事の

お知らせ



作業期間

令和3年9月8日～

令和3年11月8日(予定)

作業時間

午前9:00～午後5:00



「旧土地改良区」(小学校前の建造物)がこの度解体されることになりました。この建物は、当新関地域において農業振興の重要な役割を担ってきました。しかし、近年、社会の変化などで使われることもなくなり老朽化が進んでいました。外壁がはがれるなど危険度が増し現在は立ち入り禁止となっています。

かつては、各種会合・会議の場や新関小中学校教職員の歓送迎会の会場として、また、新関コミ協発足当時の事務所などに利用させていただきました。なつかしい思い出をお持ちの方も多いと思います。

突然の豪雨

8月23日(月)未明に雷を伴った豪雨。秋葉地区内の山沿い一部に崖崩れが発生し、避難指示が出されました。クリーンセンターに避難所を開設。小口自治会では日ごろの訓練を活かし、公会堂に対策本部を立ち上げるなど対応に当たりました。



何年かぶりに河川敷まで増水した能代川。(小口地内)

秋葉区で避難指示レベル4



しんせき 児童クラブ

廃材で作品作り
廃材に絵などを描きました。毛筆にも挑戦。(作品はコミ協の作品展に展示予定)
夏休みは、一日中コミセンで生活します。少しでも楽しく飽きさせないように先生方もいろいろ工夫されました。



しんせき児童クラブは、この夏休みに総勢21名の子供たちが利用しました。普段より人数が多くなることを見越し、個人用のロッカーを新調しました。また、くつ箱もコンパクトで使い勝手の良いものに変えました。いずれも私も子どもがサイズなど綿密に計算し、特注したものです。難しい注文に快く応えていただいた天野建築さん(小口)に感謝申し上げます。

令和3年度秋葉区地区懇談会開催される

7月7日(水)、地区懇談会が新関コミュニティセンターで行われました。この懇談会は区内各コミ協で毎年行われるもので、秋葉区の主な取り組み内容の説明や地域課題について意見交換をする機会となっています。

今回もコロナの関係で昨年同様少人数(新関地区正副自治会長・老人クラブ会長・民生委員代表、新関コミ協役員、部長)での開催となりました。今回コミ協が取り上げた地域課題と区への回答は下記のとおりです。

■秋葉区地区懇談会 地域課題に対する回答

No	◎コミ協名 新関コミュニティ協議会 <日時:7/7(水)14時~ 会場:新関コミュニティセンター>	課題	回答	回答課
1	■新関小学校は、今年から複式学級となり様々な課題が生じている。 1) 教職員の定数削減による弊害心配材料 ・児童の学力 ・各種教育活動への影響 ・教職員の激務・・・健康問題 このような状況下において、新関地域は総力をあげて学校に協力をする所存である。 2) あと2~3名の児童がおれば複式学級の解消を解消できる状況の中、柔軟な学区外就学は認められないのか。 新関小学校に通わせたいという保護者もおられたと聞く。 3) 秋葉区全体の小学校の適正規模に向けた取り組みは無いのか。 ・学区再編成 / 通学バスの運行	(1)については、ご心配として「児童の学力低下」「各種教育活動への影響」「教職員の激務(健康問題)」が指摘されたことを受け止め、市教委、そして当センターとして一層学校への支援に努めてまいります。 (2)について、学区外通学は、保護者の希望があり、かつ、定められた基準に適合する場合に認可できるものです。 (3)については、市教委が検討を進めております。なお、その際には、地域・保護者の意向を十分に踏まえて検討を進めることになっておりますので、具体の動きや案が出てきた際には検討にご協力をお願いいたします。	教育支援センター	
	■小学校前にある旧土地改良区の建物の撤去、及び跡地の利活用の進捗状況はどのようになっているのか。早期解決をお願いしたい。	【旧土地改良区の建物の撤去の進捗状況】 建物の解体については、12月議会にて令和2年度の補正予算において、解体のための予算を確保することができました。その後、2月に解体の実施設計業務委託の業者が決定し、5月にその解体実施設計業務委託が終了しました。 現在は、その業務委託の結果を受け、市公共建築第1課において入札に向けての準備作業(書類作成)が行われております。 予定では8月中には解体業者が決定する予定です。 解体工事は今年中には終了を見込んでおります。	地域総務課	
		【跡地の利活用の進捗状況】 今回の解体工事は、倒壊の危険のある建物を解体し危険を除去するものであるため、跡地の利活用についての具体的な検討は現時点ではありません。		
3	■「しんせき児童クラブ」についての課題 ○人件費の確保 3年目を迎え児童数も増え(現在通常の入会児童18名・長期休業のみ3名)子供たちは元気になっており、保護者からも感謝されている。 児童数が増えていることから職員も増やす必要がある。しかし、小規模運営のため人件費の対応に苦慮している。小規模施設にも光が当たる財政措置を講じてほしい。	市内には小規模の児童クラブが数か所ありますが、どの児童クラブにおいても「新潟市放課後児童健全育成緊急対策事業実施要綱」及び「新潟市放課後児童健全育成緊急対策事業補助金交付要綱」に基づいて運営を行っていただいているところです。 小規模運営のクラブへの補助につきましては、児童数が少ないほど補助額も少なくなってしまう課題を認識しております。 市の財政状況から、具体策を講じるまでに至っていない現状ですが、改善策の構築と実現に向け、担当のこども政策課に現状を伝え、協議を重ねてまいります。	健康福祉課	

伊藤祥太さん

日本文理高校 3年

甲子園の土を踏む



全国高等学校野球選手権大会は、コロナや雨に悩まされながら智辯和歌山高校の優勝で幕を閉じました。新潟県代表として出場を果たした日本文理高校野球部は、持ち前の粘り強い野球を発揮しましたが、相手の好守や不運もあり初戦で敗退しました。健闘を讃えたいと思います。

今回の大会で小口出身（新関小・新津第五中・日本文理高）の伊藤祥太さんが100名を超える部員の中から選ばれ「憧れの甲子園」を現実のものとなりました。

伊藤さんは、小学校の時から地元の少年野球チームに入り野球の楽しさ、素晴らしさを知ります。そして中学校に行ってもひたむきに努力していました。

家のブロック塀にボールを投げては捕球する。この単純な動作（練習）の繰り返しを、毎日毎日時間さえあれば続けていました。「トーン」「トーン」と塀にボールが当たる音。塀に当たるボールの角度で跳ね返るボールの位置や強さが異なります。地面にワンバウンドさせてから塀に当たるとボールはフライになります。塀に近づいてボールをぶつけるとショートバウンドで捕る練習になります。そんな工夫をしながら練習しているのだろうと想像しながら、懐かしい思いでその音を聞いていました。本当に野球が好きでたまらない少年でした。

野球は団体スポーツです。しかし、個の力の結集でもありません。個を磨く努力、最後は自分にしかできません。強い意志と孤独な作業（練習）の繰り返しです。伊藤さんはこのことを見事にやり遂げたのだと思います。

甲子園から帰った伊藤さんと顔を合わせました。日焼けした顔、やり遂げた満足感があふれるさわやかな笑顔、そして、礼儀正しくはきはきした受け答えが印象的でした。

（記事の掲載は、本人の承諾を得ています。）

これまで甲子園に出場した新関出身者 及び 新関にゆかりのある方

土田正夫さん（中越高校：昭和58年）・坂上顕士さん（中越高校：平成28年）

今回の伊藤祥太さん（日本文理高校：令和3年）は3人目の快挙です。カッコ内の数字は甲子園出場年度

伝統は引き継がれています

続け！少年野球諸君

少年野球チーム「新関フェニックス」は、今年も元気に練習し数々の大会に出場しました。これまでの結果は準優勝1回・3位2回。もう少しでという惜しい試合がいくつもあり今後の課題です。みんなよく頑張りました。

◆暑い暑い夏でした。ここ秋葉区の暑さは、県内はおろか近年全国化しています。最高気温が全国の2番目3番目になると、どこどこに負けてしまったと残念がる・・・

◆準備段階から様々な話題を提供してきた東京オリンピック・パラリンピックがコロナ禍の中で終わりました。日本選手の活躍は素晴らしい多くの感動を与えてくれました。選手のうれし涙と悔し涙、記録が伸びずがっくりと肩を落とす選手の姿。テレビが余すことなく伝えてくれました。

◆今から57年前の東京オリンピック。私は東京で友達はどこからか手に入れたおんぼろテレビで見えていました。いまだに忘れられない開会式の映像。電波が時々途絶え、その都度テレビをたたきながら丸いブラウン管を凝視。最終ランナーの坂井義則さんが聖火台に向かって登って行く姿、右手に高々と掲げたトーチ、そして点火の瞬間を。

◆今回のオリンピックの開会式。大坂なおみ選手は凜として輝いていました。コロナがなかったら、オリンピックスタジアムに集まった溢れんばかりの観客からは、感嘆のため息と感動の叫び声、拍手が鳴りやまなかっただろうと57年前の坂井義則さんと重ね合わせながらテレビの画像に見入っていました。

◆パラリンピックで、すぐ隣の京ヶ瀬から出場した中学生の山田美幸選手（二つの銀メダルを獲得）など新潟県選手の活躍も見事でした。知らなかったことばかりで、学ぶことが多かったパラリンピックでした。

新関ふれあい祭りは、今回作品展のみとします。日時：10月23日（土）24日（日）

別紙参照

新関コミュニティセンター

現在コロナ感染症拡大防止のため休館中（9月16日：木まで）